

財団だより

No.10

発行所
(財)大牟田市地域
活性化センター
大牟田市健老町461
エサクセンター303号
TEL 0944(56)1717
FAX 0944(56)1725



当財団は、地域の企業が元気になり、雇用が生まれ、その結果、大牟田に住む人や働く人が増え、やがて社会全体が豊かになるという良い循環を目指して活動しています。環境・リサイクル産業の創出や地域企業の新製品、新技術開発、課題解決に向けて、技術アドバイザーが相談を受けたり、産学官等共同研究のコーディネートや各種補助金等支援制度の活用など、他の支援機関、関係機関とも連携しながら事業を実施しています。お気軽にご利用ください。

23年度の取り組み

技術開発助成事業

当財団では、環境・リサイクルに関する技術開発やその予備的検討を行う企業・研究者の皆様を支援するため、助成制度を設けております。
23年度採択事業、及び22年度継続事業をご紹介します。

- ポピー製紙(株) パルプスラッジを用いた土壌改良効果に優れるゴゴ肥料の開発
- オギハラ食品(株) 三池高菜及び残渣物に含まれる生活習慣病に有効な機能性成分の探索と新商品の開発
- (株)森商事 廃乾電池から二酸化マンガンおよび亜鉛等の有用金属の回収

募集 24年度も引き続き助成事業を募集します

1、技術開発助成事業

- ① 対象となる事業：環境・リサイクル産業の振興及び地域の活性化に資する事業
- ② 助成の期間：1事業について最長2年
- ③ 助成額：交付の対象となる経費の2分の1以内(交付限度額は原則として1事業につき2年で200万円、単年度交付限度額については100万円)

2、調査研究助成事業

- ① 対象となる事業：環境・リサイクルに係る新技術及び新製品の開発等の予備的検討等
- ② 助成の期間：1事業について1年
- ③ 助成額：交付の対象となる経費の2分の1以内(交付限度額は原則として1事業につき50万円)

Event ものづくりフェア出展 平成23年10月26日～28日開催



マリンメッセ福岡で開催された「ものづくりフェア2011」において、(財)福岡県産地産振興センターの新産業創造等基金を活用して研究開発を行った企業のパネル紹介および製品展示を行いました。会場には、約13,000人が来場し具体的な商談に繋げることができました。

Event しんきん合同商談会出展 平成23年11月9日開催



販路拡大等事業展開の活性化につなげることを目的に、マリンメッセ福岡において「しんきん合同商談会」が開催され、当財団は産学官・経営支援機関として出展しました。来場者は、5,500名を数え、企業の相談に応じるとともに、当財団が携わった企業の研究開発のパネルを展示するなど財団活動のPRを行い、販路拡大に繋げることができました。

Event 九州工業大学出前講座キャラバンIN大牟田 平成23年11月30日開催



九州工業大学主催、当財団共催による九州工業大学出前講座キャラバンIN大牟田を開催しました。当日は、松永学長の講演、産学官の連携事例の紹介、シーズ紹介が行われました。また、交流会では、活発に意見交換が行われ、相互の理解と親睦を深めることができました。

Event 第9回おおむた産学官連携交流会 平成24年3月13日開催



産学官のつながりを深め、広く大牟田地域の技術革新が進展することを目的に、産学官連携交流会を開催しました。福岡大学、有明工業高等専門学校、福岡県工業技術センターのシーズ発表と、企業2社による研究事例の発表を行い、100名を超える方に参加いただきました。

「大牟田市産業振興ビジョン」を策定しました

大牟田市では、地域経済の活性化や雇用の増加を図るため、これまで取り組んできた「地域の企業の支援」や「環境・リサイクル産業」、「新エネルギーの振興」を基本に、国・県の成長戦略を踏まえながら、大牟田市の地域資源を生かした産業振興の方向性を定めた「大牟田市産業振興ビジョン2012～2016」を策定しました。

計画期間を平成24年度から平成28年度とし、目指す将来像を「人が、物が、情報が集まり、化学変化をおこす街」の独自性あふれるエネルギーシティとおおむた」と定めました。この将来像を達成するために、特に大牟田市のポテンシャルを生かしたリーディング・プロジェクトを5つ設定し、重点的・戦略的に取り組んでいきます。

- ① 環境・リサイクル産業、新エネルギー産業推進プロジェクト
- ② 事業所誘致プロジェクト
- ③ 産業支援機能の充実・強化プロジェクト
- ④ 観光交流推進プロジェクト
- ⑤ 健康産業促進プロジェクト

この中で、「産業支援機能の充実・強化プロジェクト」を中心に、地域の企業を支援していくこととしています。

新商品等の研究開発を行い、事業化に至るまでには、時間、産学連携、資金などさまざまなリソースが必要です。そこで、次の3つの事業を新たにスタートし、支援を行っていきます。

- 産学連携コーディネーター事業(専門的な知識を有し、幅広い人脈を持つコーディネーターを配置し、さまざまな相談に対応します。)
- 地域の企業イノベーション支援事業(産業財産権に関する業務に携わる弁理士による相談業務を行います。)
- ものづくり企業技術開発支援事業(研究の初期段階に対する助成を行い、技術開発支援を行います。)

※詳細につきましては、大牟田市産業振興課、大牟田市地域活性化センターにお問い合わせください。

第4回

ものづくり日本大賞九州経済産業局長賞

受賞

「老舗発のイノベーション」体優しく、食べやすい『星型こんにやく麺』で世界進出



(有)石橋屋

130年にわたる伝統技術の「手作りこんにやく」に、穀物と野菜を配合することにより天然色素で着色された「雑穀こんにやく麺」を開発した。更に麺の形状を「星型」にするこにより、欧米人の味覚にもフィットする食感となった。これにより、欧米・東南アジア・オーストラリアなど15カ国に販売が可能になり、ヘルシー食品として好評を得ている。

この「つゆが絡み易い星型こんにやく麺」をはじめとする石橋屋の製品は、テレビや新聞等のマスコミで次々と紹介され、特にテレビ東京の番組WBS(ワールドビジネスサテライト)で放映されてからは全国的に知られるところとなった。更には、福岡大学との共同研究により、こんにやくの特性を活かした糖尿病及び生活習慣病の予防に向けた「コンジャック・パウダー」を開発し、機能性食品としての新たな展開が期待されている。

受賞



ジャパンベンチャーアワード2012 中小機構理事長賞

大牟田エコタウンで紙おむつのリサイクル事業を展開するトータルケア・システム(株)の代表取締役 長 武志氏が、ジャパンベンチャーアワード2012の中小機構理事長賞(中小企業基盤整備機構主催)に選ばれた。

これは、起業から概ね15年以内であり、高い志も持つ、自立する中小企業等の代表者に贈られるもので、新規性・革新性・社会への影響度・経営者の資質が高く評価された。全国で11人、九州からは2人の受賞となった。

長社長は「高齢福祉社会に必要な紙おむつを通じて、地域ネットワークを強化し、環境と人にやさしい街づくりを実現したい」という熱い思いのもと、高齢化社会を見据えた更なる事業展開を目指している。



トータルケア・システム(株) 代表取締役 長 武志氏

産学連携のすすめ

研究機関の人材や研究成果を活用して新たなビジネスチャンスを！

大手企業との共同研究・共同開発が多かった大学も、現在は大きくその門戸を開放し、中小企業や地域の活性化のために、積極的にさまざまな取り組みを進めています。

当財団は、技術アドバイザーや取引拡大アドバイザーを中心に、有明工業高等専門学校、福岡大学、九州工業大学、福岡県工業技術センターなどの研究者や、福岡県知的所有権センターと連携して企業の課題解決にあたります。

技術アドバイザーが貴社のお悩みを解決

相談無料
秘密厳守

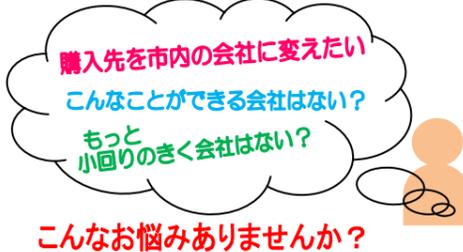
当財団の技術アドバイザーが、貴社の課題解決をお手伝いします。技術開発や生産管理、販路拡大等でお悩みの方、ぜひ技術アドバイザーへご相談ください。

取引拡大アドバイザーにご相談ください！

相談無料
秘密厳守

取引拡大アドバイザーとは

企業訪問等で独自に収集した受発注案件及び企業情報等を基に、企業の取引情報や取引先を紹介・斡旋します。



こんなお悩みありませんか？



片山 洋

【プロフィール】
パナソニックコミュニケーションズ(株)に34年勤務し、フアクシミリ、複写機の開発・製造、品質改善、生産計画の立案などに携わった経験を生かし、地元企業振興に役立つよう努めます。

福岡大学産学連携推進室紹介



押方利郎室長

福岡大学大牟田産学連携推進室は、大牟田市と福岡大学との協定にもとづき大牟田市エコサックセンター内の環境技術研究センターに平成15年4月1日に設置されました。私は平成19年4月から2代目の担当として赴任しました。

大牟田産学連携推進室は次の事業を行っています。

1. 地元企業の産学連携による共同研究開発のコーディネートに関する事
 2. 地元企業に対する技術相談及び研究開発の支援に関する事
 3. エコタウン及びテクノパーク等進出企業に対する相談支援に関する事
 4. 福岡大学と地元企業等との交流に関する事
 5. その他産学連携による地域産業の活性化に関する事
- 例えば、地元企業との産学連携による共同研究開発にしましては、(有)石橋屋、(有)大牟田エコクリーン、オギハラ食品(株)、トータルケア・システム(株)、(株)森商事などがあります。技術相談及び研究開発支援等に関しては、平成19年4月から平成23年12月までの技術相談/支援件数は延べ95件に達しています。
- 福岡大学は、人文学部、法学部、経済学部、商学部、理学部、工学部、医学部、薬学部、スポーツ科学部の9つの学部体制の西日本屈指の私立総合大学です。お困りの技術相談など地元企業の皆様のご支援に勤めてまいる所存です。是非、お気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。

有明高専地域共同テクノセンター紹介



泉勝弘センター長

開学以来、地域の皆様の温かいご支援により活動してきました。おかげさまで、平成25年で創立50周年を迎えます。この間、平成9年に地域連携を推進するために「地域連携推進センター」を設立し、技術相談や各種セミナーなどを企画・実施しました。平成14年2月に「地域連携推進センター」と改称し「総合実習センター」を統合し、施設・設備を持つ「地域共同テクノセンター」となりました。

このような中で、本校と地元および周辺地域企業との間を取り持ち、地域企業の活性化を図るために「有明広域産業技術振興会」を組織し、市役所および商工会議所と連携して産学官連携、共同研究、技術相談等を実施しています。民学関連分野においては、各学科が毎年多数の公開講座と出前授業を地域の小・中学生や一般を対象に実施しているのを、これを支援してきました。また、小中学生おもしろロボットコンテスト「ロボットJリーグ有明ステージ」を平成7年より毎年実施してきました。これらにより、地域と連携して教育活動を支援しています。

エコタウン立地企業及び環境技術研究センター入居者の紹介&募集

【株】イデックスエコエナジー(平成24年4月稼働開始予定)

ZoomUp



晃秀機工(株)

大牟田エコタウンに青色が目目を引くプラントが登場した。通称「ブルータワー」。(株)イデックスエコエナジーは、(株)新出光の子会社として世界初のバイオマス水素製造プラントを運営。同社は、グループ会社のネットワークを活用し、バイオマス水素製造のメーカーとしての第一歩を踏み出す。

CO2排出問題により水素エネルギーへの注目が集まる中、このプラントでは、カーボンニュートラルである間伐材等の「木質バイオマス」をガス化し、ガス中に含まれる水素を精製することにより、高純度の水素を製造。バイオマスを燃やすのではなく、熱を加えてガス化させるため、CO2の排出量は少なく、従来のLNGによる水素製造法と比較するとCO2排出量を約75%も削減できるそうだ。

ZoomUp



バイオディーゼル燃料(BDF)の製造企業で、平成23年10月から、BDF製造を開始した。市内の居酒屋などから使用済みの食用油を回収して、これを原料に軽油の代替燃料であるバイオディーゼル燃料や、重油・灯油との混合燃料を製造。ディーゼル車や建設機械・ボイラーの燃料として利用され、二酸化炭素の排出削減、廃棄物の抑制、廃食油の資源循環、水質保全などに効果が期待されている。

大牟田市では引き続きエコタウンへの立地企業及び環境技術研究センターへの入居者を募集します。
問合せ先:大牟田市産業振興課 0944-41-2752
エコタウンに関する情報はホームページで
<http://www.city.omuta.lg.jp/jigyomuke/yuchi/ecotown/index.html>

『環境リサイクル産業団地』

柴田産業(株)	パソコン・携帯電話等のリサイクル
トータルケア・システム(株)	使用済み紙おむつのリサイクル
三井造船環境エンジニアリング(株)	環境関連機器及び水処理プロセスの開発
(有)萬葉	建設系廃棄物のリサイクル
(株)平尾自動車商会	自動車のリサイクル
(株)成田美装センター	使用済み飲料容器のリサイクル
(株)ヤマサキ	溶融設備の再利用化事業
晃秀機工(株)	廃食油からバイオディーゼル燃料を製造
(株)イデックスエコエナジー	木質バイオマスから水素を製造
炭素繊維協会	炭素繊維リサイクルの実証試験

『企業化支援施設』

(株)高野環境	廃プラスチック等からRPFを製造
共栄環境開発(株)	廃棄物の堆肥化技術に関する研究
(株)ジェイ・イー・ピー	アミューズメント機器のリサイクル

『環境技術研究センター(大牟田市エコサックセンター内)』

(株)ジェイパック 有明環境管理センター
エーアンドオーエンジニアリング(株)
三井造船環境エンジニアリング(株)
福岡大学大牟田産学連携推進室
(財)大牟田市地域活性化センター

※環境技術研究センターの入居等に関する情報はホームページで
<http://www.ecosanc.or.jp/ecotown/e05.html>

賛助会員の紹介&募集

当財団の趣旨に賛同いただき、活動を支援していただく賛助会員を広く募集しています。23年度新しく入会いただいた企業をご紹介します。

【株】有明ねつとこむ

大牟田市をはじめ、各種企業の出資による第3セクターとして昭和62年に設立されて以来、地域の情報化の推進に大きく貢献している。

- 年会費 1万円
- 会員特典

1. 会員が研修等に参加する際、経費の一部を助成します。
2. 会員がエコサックセンターを利用する際、利用料の一部を助成します。
3. 当センターホームページやエコサックセンターの展示コーナーで活動等をPRします。
4. 各種セミナーや助成制度などの情報を提供します。

賛助会員一覧

九州三井アルミニウム工業(株)	(株)福岡県産業廃棄物協会	西日本環境エネルギー(株)
電源開発(株)	(株)森商事	(株)ジェイ・イー・ピー
祐徳近海汽船(株)	鹿島建設(株)九州支店	(株)安部日鋼工業大牟田工場
大牟田リサイクル発電(株)	共栄環境開発(株)	(財)有明環境整備公社
有明商事(株)	オーム乳業(株)	(株)ヤマサキ
九州エレクトロ(株)	(有)大牟田エコクリーン	(株)ジーンネット
有明マテリアル(株)	昭和アルミニウム(株)	日本コークス工業(株)
大牟田プレジジョン	大牟田工場	三池リサイクルセンター
信号電材(株)	矢部川電気工業(株)	(株)旭精機
(株)萬葉	室町ケミカル(株)	九州ビルサービス(株)
(株)テクノックス九州	松尾産業(株)	(株)ランド・クリエイティブ
(株)美和技研	(株)九研	(有)石橋屋
サンキュー化成(株)	YOCASOL(株)	(株)サンデン
オギハラ食品(株)	(株)有明ねつとこむ	